

令和 8 年度

防衛関係事業(9 条)
消防ポンプ自動車

C D - I 型仕様書

富士吉田市役所

消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書

第1 総 則

- 1 この仕様書は、富士吉田市（以下「発注者」という）が令和8年度に購入する消防ポンプ自動車（以下「車両」という）艤装、性能及びこれらに関する一切の仕様について定める。
- 2 車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。また、車体は常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 3 艤装材料は、すべて日本産業規格品（産業標準化法昭和24年法律第185号）又は、これらと同等以上の強度及び耐久性を有するものであること。
- 4 車両は、品質保持並びに環境配慮と、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については「品質管理システム ISO9001」「環境管理システム ISO14001」を構築していること。なお、「ISO9001」は製造工場が取得していること。

第2 仕様の変更

- 1 本仕様書に揚げるすべての装備、付属品及び資機材等の物品については、発注者の指定する物品とする。なお、同等品を使用する場合は、入札前に性能資料を提出し発注者の承諾を得なければならない。
同等品の定義は、発注者が同等の機能を有すると認めるものに限る。
同等品の性能確認については、完成検査及び納車検収時に現車で行うものとする。
- 2 艤装にあたっては仕様の目的が十分達成されるよう製作し、技術上変更を要する場合及び疑義がある場合は、随時「発注者」と協議し承認を得た場合のみ仕様の変更をする事ができる。
その場合は、発注者の指示を受け確認の図書等を取り交わすこと。

第3 仕様の確認

- 1 受注者は、本仕様に基づく工事が完全かつ強固に施行できるよう事前に協議を行い、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。

第4 提出書類

- 1 製作に先立ち次のものを各2部提出し、「発注者」の承認を受けること。
 - (1) 製作承認図（艤装図、キャブ内図面）
 - (2) 製作工程表（納車まで）
 - (3) 「ISO9001」・「ISO14001」登録証の写し
 - (4) その他発注者が指示するもの

2 車両納入時に次のものを各2部提出すること。

- (1) 完成図・製作図面
- (2) ポンプ性能検査表
- (3) 受託試験合格証書の写し
- (4) 自動車検査証の写し
- (5) 工程写真・完成写真（前面・左右側面・後面・上面）
- (6) 車両重量実測証明書、転覆確度実測証明書

3 その他

- 1 及び2の提出書類について電磁記録媒体（CD-R等）を1式提出すること。
- 取扱説明書についてはファイルにまとめたものを1部車両納入時に収めること。

第5 検 査

- 1 施工中、工事確認及び指示のため塗装前に中間検査を行う。
- 2 発注者が適当と判断する時期に完成検査を行う。
- 3 その他「発注者」が必要と認めたときに行う。

第6 車両諸元

1 車体の構造

すべての資材は、消防車としての特用途に合致した精度と強度を有しこの仕様書に特記しないものであっても、その一切は消防施設強化促進法（法律87号）第4条第2項に定める規格及び動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（自治省令第35条）並びに市町当市消防防災施設整備費補助金交付要綱に適合したものでなければならない。

2 シャシ型式

シャシは、最大積載量3t級ダブルキャブ型の消防専用シャシとし、車両総重量は5t未満とすること。

3 車体諸元

ホイールベース	約2,800mm以下
全長	約5,800mm以下
全幅	約1,900mm以下
全高	約2,800mm以下
定員	8名（キャビン内6名、後部荷台2名）

4 エンジン並びに電気装置及びその他

エンジン出力	103KW／2,800rpm
総排気量	2,990cc以上
ジェネレーター	24V－80A以上
バッテリー	寒冷地仕様100Ah以上

燃料タンク	60L以上（給油口・軽油・最大数量を明記）
タイヤ	スタッドレスタイヤのみ
主ブレーキ	油圧真空倍力装置付
キャブ	ダブルキャブ（全鋼製）
オイルパンヒーター	マグネットコンセント型（バッテリー充電器兼用型）
駆動方式	4×4
トランスミッション	A/T

5 運転席及び隊員席

- (1) 運転席及び隊員席はシャシ固有のものとする。
- (2) 前席後部に、後席用の握り棒を取り付けること。また、防火衣ヘルメット等を掛けることができるフック8個を取り付けること。
- (3) キャブ内天井中央にLED室内灯を1個取り付けること。
- (4) キャブ両側に乗降用ステップ及びピラーに昇降用握り棒を取り付けること。
- (5) コンセントを運転席側Bピラー下部に2口取り付けること。
- (6) 中央手摺に後席用のマイクジャックを取り付けること。

6 主ポンプ

- (1) ポンプはA-2級ポンプとし、軽量かつ高性能なアルミ製1段ボリュート式ポンプ若しくは、オールアルミ製インデューサー付2段バランスタービンポンプもしくはとすること。なお、ポンプ羽根車（インペラー）についてはサビに強く耐久性を備えたBC製とすること。

性能は「規格放水性能0.85Mpaにて毎分2500ℓ以上」「高圧放水性能1.40Mpaにて毎分1900ℓ以上」とすること。

- (2) ポンプの架装は、努めてエンジンに近く、かつ、点検整備に便利なように取り付け、上部及び後方は出来るだけ大きく開放出来る構造とすること。
- (3) 主ポンプ及び附属装置を支える補助機は、シャシ、フレームに堅固に取り付け、振動等で緩みを生じないようにすること。
- (4) ポンプドレンコックは、集中型とし30秒以内に残水を完全に排出できるもので、開閉はPTOスイッチに連動する。
- (5) 水ポンプについては日々のグリスアップならびにオイル補充などが不要なメンテナンスフリー方式のメカニカルシールとすること。

7 真空ポンプ

- (1) 無給油式真空ポンプとし、高所からの揚水を考慮し、最高真空性能に優れるピストン式真空ポンプ式、もしくはツイン式真空ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプへの動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし 動力伝達をスムーズに伝達が行えることができる構造とすること。
なお 操作は自動用水装置（液晶モニター）パネルのスイッチにより確実に着

脱し揚水完了と同時に自動的に停止するものとし非常用の別系統スイッチを設けること。

- (4) 性能は、30秒以内に真空度が大気中の84%以上であること。
- (5) 揚水完了を示す表示を液晶画面内に取り付けること。
- (6) 自動揚水システムパネルは、揚水開始から揚水完了までの配管内状況表示、放水口開閉等の状況が的確に判断出来る自動揚水連動の液晶モニターをポンプ操作装置内に左右各1個設けること。

8 動力伝達、ポンプ操作装置

- (1) ポンプへの動力伝達 (PTO) は、電磁スイッチにて行い運転席ならびに左右のポンプ操作室に設けたボタン操作によって行うものとする。
- (2) ポンプ用のスロットルは、電気式としポンプ室左右の各計器を見ながら操作できる位置に取り付け、右回転でエンジン回転上昇、左回転で下降する構造とすること。また、スロットルにはスロットル固定機能や自動調圧装置などの安全制御機能を設け、車体左右のポンプ操作盤で操作できること。
- (3) 圧力計、連成計については凍結による破損の心配のない電子式メーターとし、視認性の向上の為、計器については車体から45度程度張り出した状態で取付すること。
- (4) 車体左右にポンプ操作盤 (液晶画面付) を設け、コック開閉表示、流量計、流量積算計、各種警報を表示できること。なお、液晶画面についてはパネルスイッチ方式とし、寒冷地運用が可能な耐寒仕様とすること。
- (5) 故障や不具合の早期発見や車両・ポンプ装置等に関するデータを自動取得し、これらを自動発信できるIoT情報収集端末を設置すること。
- (6) ポンプ操作盤の故障時に備え、非常用の揚水操作装置ならびに通常スロットルと同サイズ程度の非常用のポンプスロットルを設けること。

9 吸水装置及び吐水装置

- (1) 吸水管は75mm×10mを、左右各1本とし、スイベルエルボを用いてボールコックに接続すること。
- (2) 吸水口内にストレーナー (取り外し型) を取り付けること。
- (3) 吸水口にエゼクターを取り付け吸水量1.0m³/min (吸水高3m) の時に、バルブを全開しても落水せず60秒以内に揚水を完了するものとする。
- (4) 吐水口は65mm左右各2個とし、内1個はスィーベル吐水口媒介 (ヨネANS-65) とする。
- (5) 中継口は65mmボールコック (ストレーナー付) とし左右に各1個取り付ける。
- (6) 吸水、吐水、中継口のコックはすべて車体前方側にて開放とする。
- (7) 冬季における凍結防止の為、カップ式の不凍液注入装置を設けること。

1 0 冷却装置

- (1) 冷却配管は吐水配管から冷却水バルブを通り、サブラジエーターに至るものとする。配管の詰まりを考慮して予備回路を併設すること。
- (2) 操作はポンプ室右に冷却水バルブを設けること。
- (3) 冷却水には確認キャップを設け、専用工具にて容易に外れる構造とすること。

1 1 照明装置及び警報装置

- (1) 赤色警光灯（スピーカー・標識灯・モーターサイレン内蔵）をキャビン上部前方に取り付けること。
取付方法はキャブ天井の保護の為、警光灯はキャブへ直付けせず、袴上のボックスを用いて取り付けを行うこと。
- (2) 車両後部に赤色点滅灯を取り付ける。（保護棒付）
- (3) 車両前部及び側部に、赤色点滅灯を取り付ける。
- (4) 各計器照明用のLEDライトを左右に取り付けること。
- (5) 各ボックス内にLED照明ランプを取り付ける。
- (6) ボディ側面ならびに後方へ周囲照射用のLED作業灯を取り付ける。
- (7) 高輝度LEDサーチライト（80W以上）を伸縮柱を設けて左右前ボディ上部に取り付けること。
- (8) 電子サイレンをキャブ内へ取り付けること。
- (9) 助手席隊員用のマップランプをAピラーに取り付けること。
- (10) ボディ前方に伸縮ステー付の標識灯を設け、本市の指定文字を貼付すること。（前述の赤色警光灯内蔵型とは別途設けること）
- (11) 夜間での操作性向上のため、ポンプ操作部を照らすようにポンプ室上部ボックスとポンプ操作部の間にLED照明を設けること。

1 2 艀装及びボディ構造

- (1) ボディ構造は、前部よりキャブ・ポンプ室・後部荷台とする。
- (2) サイドエプロン、リヤステップ等は軽量化、防錆の為アルミ縞板とする。
- (3) ボディー上部にアルミ製2連梯子を取り付ける。取付方法は容易に積み降ろしが出来る構造とする。
- (4) ボディ上部に資器材収納用のアルミボックスを設けること。
- (5) ポンプ室上部には左右貫通型のシャッター式収納を設けること。
- (6) 鳶口、管鎗（後部）、スタンドパイプ、ガンタイプノズル、消火栓開閉金具の取付装置を設けること
- (7) 車両左右ステップ、各コック下部・フェンダー上部・吸水管積載部はアルミ縞板張りとする。
- (8) 狭路・小路地対策の為、フェンダー後方部（リアオーバーハング）ステップ

は、後方に対し設計の許す限り絞りを入れること。また、テールランプはリアステップ埋め込み型とし、吸水管展張時の支障にならない構造とすること。また、吸水管取付金具についてもステップ構造を考慮した展開角度の大きいキャッチ式の金具とすること。ナンバープレートについても埋め込み式にて取付とし、運用時の支障にならない構造とすること。

- (9) キャブ内後部座席下にバッテリー管理装置を設け、外部100V電源をマグネットコンセントにより車体に接続することで車体バッテリーを充電できる様にする。なお、コンセント部については走行時の巻き上げを考慮した箇所に取付すること。
- (10) 車両左側吸水管巻上部に鳶口取付装置を設けること。
取付装置については上向きに2本、斜め下向きに1本取付可能な装置を設けること。取付装置については調整できるようにすること。
- (11) 艀装前面からキャブ下にかけてアルミ製（側板も含む）ステップを設けること。（詳細別途協議）また、車両左側にはバッテリー収納ボックス（スライド式）、燃料タンクを設けること。
- (12) 車両後部荷台は、シャッター式資機材収納庫ならびに隊員用座席とすること。
隊員用座席についてはシャッター式資器材収納庫の車体後方側とし、折り畳み式1名掛け座席（シートベルト付）を左右に各1席設け、キャビン内との通話が可能なインターホン装置も併せて設けること。詳細、別途協議。
- (13) 後部シャッターボックス内には指定の救助資器材が積載可能な構造とし、必要に応じて固定装置を設けること。
- (14) 車体左側面に分団旗の取付装置を設けること。

1.3 ボックス

- (1) 各ボックス内にはスノコ（樹脂製）を入れ、水が入らないようにパッキンを取り付けること。
- (2) ポンプ室左右上部にはシャッターボックスを設けること。
- (3) 車体後部荷台部にはシャッター式の資器収納庫を設けること。別途協議。

1.4 その他取付

- (1) キャブ前部中央に赤色座板を設け、消防団章を取り付けること。
- (2) 既存の無線機ならびに受令機の移設工事を行い、アンテナ一式を取り付けること。バッテリー上がり防止の為、スイッチはメインスイッチ連動とする。

1.5 塗装及び記入文字

- (1) 車両は充分錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ赤色塗装により3回以上の塗装を行うこと。
また、視認できる箇所はすべて塗装等を施すこと。
塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。シャッター部については無塗装とすること。
- (2) フレーム、フェンダー内側その他車体の下廻りは黒色とすること。
- (3) ポンプ室内側及びボックス内は、銀色に塗装すること。
- (4) 次のものは上質のクロームメッキ及びアルマイト処理を行うこと。ただし、鉄製品は銅メッキの上で行うこと。計器盤、各操作レバー、吸水口、吐水口、媒介金具、照明灯、筒先、金具、手摺り、握り棒等。
- (5) 文字の記入は次の通りとする。（色、書体等については協議すること）

ア 後部ドア 上段「富士吉田市消防団」
下段「第13分団」
赤色警光灯 「東町」
標識灯 「第13分団」
キャブフロントパネル 「東町」

ア 後部ドア 上段「富士吉田市消防団」
下段「第15分団」
赤色警光灯 「新町」
標識灯 「第15分団」
キャブフロントパネル 「新町」

- (6) 車体に発注者が指定する防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムを作成し取付けること。（事前に協議すること）
- (7) シャッター式資機材収納庫には指定する絵柄等を施すこと。
- (8) スイッチ類等にはON/OFFがわかるよう標識等取付けること。

1.6. 登録、保険及び廃車手続等

- (1) 受注者は、車両が完成した時は陸運支局の行う新規登録検査に合格させるものとし、その手続き及び費用を負担するものとする。
- (2) 新規登録に係わる重量税、自賠責保険料、登録手数料等は受注者が代替払いとし、車両代金と同時に請求することができるものとする。
- (3) 旧車両の廃車費用等は、受注者の負担とする。
- (4) 旧車両の永久抹消登録については、関係機関と事前に協議し提出書類等を作成し発注者に提出すること。また、永久抹消登録完了後速やかに当該抹消登録証明書の原本を発注者へ提出すること。
- (5) 旧車両の車体に表示してある名称等を消去、赤灯類は取り外し、引渡し後において発注者に一切迷惑を及ぼすことの無いように処理すること、なお名称消去、赤灯類取り外し後は、当該箇所を写真撮影の上、当市に提出すること。

(6)旧車両の自動車検査証の有効期限と登録番号等は次のとおりとする。

ア 有効期限 令和8年10月11日
登録番号 富士山800 さ 8013
型 式 PB-NKS81N
車台番号 NKS81-7000064

イ 有効期限 令和9年3月22日
登録番号 富士山800 さ 8015
型 式 PB-NKS81AN改
車台番号 NKS81-7000226

17 補 足

- (1) 入札書には、車体・艤装・付属品及び販売諸費用の合計金額（消費税を除いた額）を記載すること。但し、重量税・自賠責保険・リサイクル税・登録諸費用を除くこと。
- (2) 車両はすべての検査に合格したものを納入すること。
- (3) 保証期間は納入後1ヶ年とする。ただし、設計不良、工作不良に起因する不都合が発生した場合は、無償にて修理又は製品の取り替えを行うこと。

18 納入台数 2 台

19 納 期 令和 10年 2月 18日

20 納入場所 富士吉田市役所

21 その他

- (1) 本仕様書に記載されていない事項やメーカーが公表した仕様及び艤装は、本仕様に係わらず施工するものとする。
- (2) 自動車登録番号は、希望番号とすること。(別途協議)
- (3) 本事業は、防衛省の補助事業により車両を更新するのであるため、納入後も必要に応じ書類の作成等に協力するものとする。
- (4) 納車時を除き、保証期間内において消防ポンプ取り扱い説明依頼があった場合は、早急に日程調整を行い2度まで艤装メーカーは無償で対応すること。
- (5) 保証期間内において、故障や不具合が発生した場合は48時間以内に艤装メーカーによる原因の特定、対処を行い、早急な修理を行うこと。
- (6) 納入後、車両・ポンプ等1年点検を無償にて行うこと。

別表1 (シャシ)

番号	品名	仕様等	数量
1	四輪駆動普通自動車	4WD・オートマチック仕様	1

別表2 (ぎ装)

番号	品名	仕様等	数量
1	ぎ装一式	CD-1型 標準ぎ装	1
2	水ポンプ・真空ポンプ変更	高性能水ポンプ・高揚程型真空ポンプ	1
3	後部ボディ部座席	折畳式×左右1席	1

別表3 (取付品及び取付装置)

番号	品名	仕様等	数量
1	ポンプ圧力計	電子式・45度張り出し式	2
2	ポンプ連成計	電子式・45度張り出し式	2
3	エンジン回転計	シャシ標準品	1
4	エンジン油温計	シャシ標準品	1
5	赤色警光灯	標識灯一体型 大阪サイレン NF-ML-VK2M-LA	1
		点滅灯：前部・側部 大阪サイレン LFA-200	2
		点滅灯：車体後部（保護枠付） 大阪サイレン LFA-100	1
6	電子サイレン	音声合成装置付 大阪サイレン TSK-D152	1
7	照明灯（80W以上）	小糸製作所高輝度LED MYS75LP	2
8	後退警報器	音声式	1
9	標識灯	ボディ前方・伸縮ステー付	1

別表4 (軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置)

番号	品名	仕様等	数量
1	電動サイレン	赤色警光灯内蔵型	1
2	真空計	リタード式連成計兼用	2
3	ポンプ回転計	左右操作盤に表示	2
4	流量計	左右操作盤に表示。放水量に応じた色分け表示機能	1
5	流量積算計	左右操作盤に表示	1
6	キャブチルト装置	シャシ標準品	1
7	オイルパンヒーター	10mコード（バッテリー充電器兼用）	1
8	キャブチルト装置	シャシ標準品	1
9	不凍液注入装置	カップ式（180mm） 2系統注入	1

10	作業灯（周囲照射灯）	側面 大阪サイレン LIA-200 左右1個 後面 大阪サイレン LIA-200 2個	4
11	ドライブレコーダー	ア 車両前後など2か所以上設置すること（バック アイカメラとの連動可） イ 200万画素以上を有すること ウ 自動及び手動にて録画できるものとする。 エ SDカード等に記録でき、記録できる時間は8 時間以上とし内容が容易に確認できること オ 駐車監視機能付	1式
12	インバーター（AC100V/1000W）	キャビン内の適当な位置に設置しメンテナンスが容 易であること	1式

別表5（備えなければならない付属品）

番号	品名	仕様等	数量
1	吸管	呼称 75mm×10m LF-RS	2
2	吸口ストレーナー		2
3	吸管ストレーナー		2
4	吸管ちりよけ籠		2
5	吸管枕木	ゴム製	2
6	吸管ロープ	15mm×10m	2
7	消火栓媒介金具	75mm雌ネジ×65mm町野式雌金具 AS-75	1
8	中継用媒介金具	65mm雌ネジ×65mm町野式雌金具 AS-65	2
9	消火栓開閉金具（地下式）	MH75 キーハンドル	1
	消火栓開閉金具（地上式）	前沢式 09MAE00F	
10	吸管スパナ	75mm	2
11	管鎗	スーパーストリーム管鎗 PP65A・EXS・L	2
12	ノズル	NV-65PCX/S（ヨネ）	2
13	放口媒介金具	AN-65（ヨネ）	2
		ANS-65（ヨネ）	2
14	とび口	1800mm グラスファイバー・槍とび	2
15	金テコ	800mm程度	1
16	剣先スコップ	木柄	1
17	はしご	KHRF-36	1
18	車輪止	ゴム製（小） 取手付	2
19	消火器（検定品）	自動車用粉末20型	1
20	ポンプ工具	冷却水ストレーナー用スパナ	1
21	ホース	呼称 65mm×20m 1.3Mpa 国検品	10

別表6 (軽微な変更として備えることができる付属品)

番号	品名	仕様等	数量
1	タイヤチェーン	ジャシ標準	1
2	分岐管	WB-65・65	1
3	ホースブリッジ	CB450	1
4	ワイヤー	牽引用ロープ (蛇腹ロープ)	1
5	ホース背負い器	65mm用・アルミ製軽量型 MAC003・カバー付	2
6	スタンドパイプ	PS-65・800	1
7	特殊ノズル	ガンタイプノズル (変換媒介付) ブルーデビルまたは、クワドラフォグノズル YONE NH-50QF	1

別表7 (特殊装備品)

番号	品名	仕様等	数量
1	自動揚水システムモニター	左右各1基・液晶画面式	1
2	路肩灯	LED 保護棒付き	2
3	消防章		1
4	バッテリーメインスイッチ	ACC連動艤装メインスイッチ	1
5	補修塗料	赤色、シルバー	1
6	バッテリー充電器	C7 (ボッシュ)・マグネット式ケーブル	1
7	バックアイカメラ	後方監視モニター (ジャシ純正品)	1
8	旗立パイプ及び分団旗用支柱	SUS製・車両用分団旗含む (詳細は別途協議)	1
9	低水位ストレーナー	フローティングストレーナーS	1
10	ポンプ操作部PTOスイッチ		2
11	資器材収納用アルミボックス	車体天井部・大型	1

別表8 (救助用資器材)

番号	品名	仕様等	数量
1	エンジンカッター	電動式ディスクグラインダー・マキタ GA512D	1
2	チェーンソー	エンジン式・替刃2 (MS180C-BE)	1
3	チャップス	MT536	1
4	ゴーグル	SP-19F (重松製作所)	6
5	携帯用コンクリート破壊器具	ストライカー (共成株式会社)	1
6	油圧ジャッキ	MHC-2RS (マサダ製作所)	1
9	照明器具等	発電機 EU9i (発注者支給) バッテリー内蔵型照明装置 マキタML014G パワーソースキットXGT16付 コードリール 30m (屋外型)	1

10	斧	グラスファイバー MT001B	1
		手斧 トップマン	1
11	可搬ウィンチ	X-5	1
12	ガソリン携行缶	5 L	1
13	担架	携帯型キャリアリーフ (ミドリ安全性)	1
14	掛矢	木製	1
15	拡声器	TS-634 (ノボル電機)	1